2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上 場 会 社 名	株式会社いよぎんホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5830	URL	https://www.iyogin-hd.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 三好　賢治	
問合せ先責任者	(役職名) 経営企画部長	(氏名) 立花　宏司	(TEL) 089-907-1034
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	2026年12月10日

特定取引勘定設置の有無　　無
決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　（機関投資家向け ）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

(1) 連結経営成績

（%表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	158,709	15.0	67,009	21.3	46,681	8.0
2026年3月期中間期	138,004	13.5	55,243	28.6	43,243	44.4

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　30,154百万円（　△48.3%）　2026年3月期中間期　58,355百万円（ 69.6%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	162.78	162.76
2026年3月期中間期	147.27	147.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	9,345,541	885,499	9.5
2026年3月期	9,539,812	877,882	9.2

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　885,476百万円　2026年3月期　877,704百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	－	30.00	－	30.00	60.00
2027年3月期	－	40.00			
2027年3月期(予想)			－	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	298,000	12.0	115,500	16.4	80,000	7.7	281.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（3）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	313,408,831株	2026年3月期	313,408,831株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	28,889,694株	2026年3月期	25,277,909株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	286,773,396株	2026年3月期中間期	293,634,956株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結株主資本等変動計算書 …… 7
（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（追加情報） …… 11
（セグメント情報） …… 14

※2027年３月期第２四半期（中間）決算説明資料

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間期のわが国経済は、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや、物価上昇および金融政策の正常化に伴う金利上昇など、景気下押しの要因がみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調となりました。先行きにつきましては、引き続きコスト高による影響が懸念されるものの、実質賃金がプラスに転じたことによる購買力の改善が個人消費を下支えし、全体として緩やかな持ち直しが続くとみられます。

愛媛県経済においては、賃上げや雇用・所得環境の改善が進んでいるものの、継続的な人件費の増加に加え、仕入価格やエネルギーコストの高止まりにより、企業の負担は増加しております。先行きにつきましては、個人消費に下支えされた持ち直しの動きが期待される一方で、国内における物価動向や金融環境の変化などから、依然として慎重な見方となっております。

このような情勢のもと、当中間連結会計期間における業績は、次のとおりとなりました。

連結経常収益は、国内金利の上昇及び貸出金残高の増加などによる資金運用収益の増加や、株式売却益の増加などによるその他経常収益の増加などから、前年同期比207億５百万円増加の1,587億９百万円となりました。一方、連結経常費用は、国債等債券売却損の増加などによりその他業務費用が増加したことなどから、前年同期比89億38百万円増加の916億99百万円となりました。

この結果、連結経常利益は前年同期比117億66百万円増加の670億９百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比34億38百万円増加の466億81百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

連結財政状態につきましては、総資産は前年度末比1,942億円減少して９兆3,455億円となり、純資産は前年度末比76億円増加して8,854億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、譲渡性預金を含めた預金等は前年度末比1,020億円減少して７兆1,776億円、貸出金は前年度末比169億円減少して６兆902億円、有価証券は前年度末比2,608億円減少して１兆4,449億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月８日に公表いたしました2027年３月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日（2026年11月６日）公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
現金預け金	1,167,067	1,312,968
コールローン及び買入手形	5,116	6,923
債券貸借取引支払保証金	120,647	99,922
買入金銭債権	3,386	3,175
商品有価証券	318	327
金銭の信託	5,404	5,818
有価証券	1,705,787	1,444,970
貸出金	6,107,233	6,090,243
外国為替	6,594	4,986
リース債権及びリース投資資産	48,590	50,274
その他資産	218,523	174,040
有形固定資産	85,721	85,547
無形固定資産	12,794	12,580
退職給付に係る資産	61,828	61,458
繰延税金資産	345	330
支払承諾見返	32,357	34,815
貸倒引当金	△41,906	△42,841
資産の部合計	9,539,812	9,345,541
負債の部		
預金	6,743,301	6,720,400
譲渡性預金	536,431	457,266
コールマネー及び売渡手形	4,796	16,207
売現先勘定	122,894	74,149
債券貸借取引受入担保金	176,178	122,834
借用金	694,497	716,167
外国為替	2,002	656
信託勘定借	1,764	1,861
その他負債	228,640	203,974
賞与引当金	2,513	2,199
退職給付に係る負債	6,647	6,763
睡眠預金払戻損失引当金	245	110
偶発損失引当金	1,297	1,267
株式報酬引当金	797	767
固定資産解体費用引当金	590	243
特別法上の引当金	7	5
繰延税金負債	97,443	90,849
再評価に係る繰延税金負債	9,521	9,498
支払承諾	32,357	34,815
負債の部合計	8,661,929	8,460,041

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	28,296	28,429
利益剰余金	616,452	654,498
自己株式	△38,731	△52,562
株主資本合計	626,018	650,366
その他有価証券評価差額金	195,689	183,428
繰延ヘッジ損益	16,576	13,721
土地再評価差額金	18,237	18,188
退職給付に係る調整累計額	21,182	19,772
その他の包括利益累計額合計	251,685	235,110
新株予約権	23	23
非支配株主持分	155	－
純資産の部合計	877,882	885,499
負債及び純資産の部合計	9,539,812	9,345,541

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
経常収益	138,004	158,709
資金運用収益	75,179	86,172
（うち貸出金利息）	45,905	52,987
（うち有価証券利息配当金）	26,347	27,195
信託報酬	0	0
役務取引等収益	8,404	9,256
その他業務収益	22,198	22,103
その他経常収益	32,222	41,176
経常費用	82,761	91,699
資金調達費用	23,363	22,778
（うち預金利息）	10,502	15,612
役務取引等費用	3,016	3,212
その他業務費用	20,355	31,468
営業経費	31,334	31,570
その他経常費用	4,690	2,669
経常利益	55,243	67,009
特別利益	6,000	15
固定資産処分益	0	13
金融商品取引責任準備金取崩額	－	1
受取和解金	6,000	－
特別損失	116	65
固定資産処分損	66	55
減損損失	50	10
税金等調整前中間純利益	61,127	66,959
法人税、住民税及び事業税	17,810	19,392
法人税等調整額	59	885
法人税等合計	17,869	20,278
中間純利益	43,257	46,681
非支配株主に帰属する中間純利益	13	－
親会社株主に帰属する中間純利益	43,243	46,681

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	43,257	46,681
その他の包括利益	15,097	△16,526
その他有価証券評価差額金	14,070	△12,261
繰延ヘッジ損益	1,715	△2,855
退職給付に係る調整額	△688	△1,409
中間包括利益	58,355	30,154
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	58,341	30,154
非支配株主に係る中間包括利益	13	－

（３）中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	28,299	558,243	△21,318	585,224
当中間期変動額					
剰余金の配当			△7,424		△7,424
親会社株主に帰属する中間純利益			43,243		43,243
自己株式の取得				△4,001	△4,001
自己株式の処分		△3		506	503
土地再評価差額金の取崩			33		33
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	－	△3	35,851	△3,494	32,354
当中間期末残高	20,000	28,296	594,095	△24,812	617,579

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	175,877	12,307	18,457	10,452	217,093	115	289	802,723
当中間期変動額								
剰余金の配当								△7,424
親会社株主に帰属する中間純利益								43,243
自己株式の取得								△4,001
自己株式の処分								503
土地再評価差額金の取崩								33
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	14,070	1,715	△33	△688	15,064	△91	12	14,985
当中間期変動額合計	14,070	1,715	△33	△688	15,064	△91	12	47,339
当中間期末残高	189,947	14,022	18,424	9,763	232,158	23	301	850,062

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	28,296	616,452	△38,731	626,018
当中間期変動額					
剰余金の配当			△8,689		△8,689
親会社株主に帰属する中間純利益			46,681		46,681
自己株式の取得				△14,125	△14,125
自己株式の処分		132		294	427
土地再評価差額金の取崩			49		49
連結範囲の変動			5		5
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	－	132	38,046	△13,831	24,348
当中間期末残高	20,000	28,429	654,498	△52,562	650,366

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	195,689	16,576	18,237	21,182	251,685	23	155	877,882
当中間期変動額								
剰余金の配当								△8,689
親会社株主に帰属する中間純利益								46,681
自己株式の取得								△14,125
自己株式の処分								427
土地再評価差額金の取崩								49
連結範囲の変動								5
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△12,261	△2,855	△49	△1,409	△16,575	－	△155	△16,731
当中間期変動額合計	△12,261	△2,855	△49	△1,409	△16,575	－	△155	7,616
当中間期末残高	183,428	13,721	18,188	19,772	235,110	23	－	885,499

（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	61,127	66,959
減価償却費	3,787	3,892
減損損失	50	10
貸倒引当金の増減（△）	2,294	935
賞与引当金の増減額（△は減少）	△308	△314
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	387	369
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△33	116
睡眠預金払戻損失引当金の増減（△）	△123	△135
偶発損失引当金の増減額（△は減少）	74	△29
株式報酬引当金の増減額（△は減少）	△19	△30
固定資産解体費用引当金の増減額（△は減少）	－	△347
特別法上の引当金の増減額（△は減少）	－	△1
資金運用収益	△75,179	△86,172
資金調達費用	23,363	22,778
有価証券関係損益（△）	△24,430	△23,788
金銭の信託の運用損益（△は運用益）	△107	△44
為替差損益（△は益）	△9,621	8,522
固定資産処分損益（△は益）	65	41
受取和解金	△6,000	－
貸出金の純増（△）減	△128,336	16,990
預金の純増減（△）	73,076	△23,512
譲渡性預金の純増減（△）	△139,056	△79,165
借用金（劣後特約付借入金を除く）の純増減（△）	△44,912	21,670
預け金（日銀預け金を除く）の純増（△）減	△195	△5,159
コールローン等の純増（△）減	1,865	△1,595
債券貸借取引支払保証金の純増（△）減	－	20,724
コールマネー等の純増減（△）	140,635	△37,333
債券貸借取引受入担保金の純増減（△）	37,035	△53,343
外国為替（資産）の純増（△）減	640	1,608
外国為替（負債）の純増減（△）	△801	△1,345
リース債権及びリース投資資産の純増（△）減	△4,058	△1,683
信託勘定借の純増減（△）	102	97
資金運用による収入	75,878	82,021
資金調達による支出	△25,740	△21,920
その他	△28,871	20,231
小計	△67,408	△68,952
和解金の受取額	6,000	－
法人税等の支払額	△13,820	△19,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	△75,229	△88,286

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△904,198	△1,699,097
有価証券の売却による収入	773,971	1,623,947
有価証券の償還による収入	80,919	330,736
金銭の信託の増加による支出	－	△420
金銭の信託の減少による収入	610	－
有形固定資産の取得による支出	△2,900	△1,783
有形固定資産の売却による収入	19	84
無形固定資産の取得による支出	△1,609	△1,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,188	251,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	3	－
非支配株主への払戻による支出	△4	－
配当金の支払額	△7,424	△8,689
自己株式の取得による支出	△4,001	△14,125
自己株式の売却による収入	131	266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,295	△22,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△139,713	140,740
現金及び現金同等物の期首残高	1,119,510	1,163,091
現金及び現金同等物の中間期末残高	979,796	1,303,831

（５）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（信託を用いた株式報酬制度）

当社及び当社の子会社である株式会社伊予銀行（以下「伊予銀行」という。）は、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、当社取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員並びに伊予銀行の取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員（以下あわせて「取締役等」という。）に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しております。

１．取引の概要

信託は、当社が拠出する資金を原資として、当社株式を取得します。

当社及び伊予銀行が定める株式交付規程に基づき、取締役等にポイントを付与し、その退任時において、信託を通じてポイントに応じた当社株式及び金銭を交付します。

２．信託が保有する当社の株式に関する事項

（１）信託が保有する当社株式は、信託における帳簿価額により株主資本において自己株式として計上しております。

（２）信託における当中間連結会計期間末の帳簿価額は1,649百万円（前連結会計年度末は1,810百万円）であります。

（３）信託が保有する当社の株式の当中間連結会計期間末株式数は1,394千株（前連結会計年度末は1,530千株）であります。

（当社と株式会社愛媛銀行の経営統合に関する基本合意について）

当社は、2026年７月24日開催の取締役会において、株式会社愛媛銀行（以下、「愛媛銀行」といいます。当社と愛媛銀行をあわせて、以下、「両社」といいます。）と経営統合（以下、「本経営統合」といいます。）に向け協議・検討を進めていくことについて基本合意することを決議し、両社間で基本合意書を締結いたしました。

１．本経営統合の理念と目的

本経営統合は、信頼と尊重の精神の下、両社の強みを最大限生かした新たな金融グループを創ることで地域金融システムの安定化を図り、両社の協働を通じて、地域全体、またお客さまの課題解決を図ることにより、地域経済の発展に寄与することを目指すものです。

本経営統合により、両社がこれまで培ってきたノウハウ、リレーションおよび人財を掛け合わせることで、サービスの利便性向上やコンサルティング機能の拡充を図り、地域経済の発展と企業価値の最大化を目指してまいります。

２．本経営統合の形態

両社は、愛媛銀行の株主総会の承認および本経営統合を行うにあたり必要な関係当局の許認可等を得ることを前提として、2027年４月１日を目処に、当社を完全親会社、愛媛銀行を完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことを協議・検討してまいります。愛媛銀行は、本株式交換により当社の完全子会社となりますので、愛媛銀行の株式は、本株式交換の効力発生日に先立ち、東京証券取引所を上場廃止となる予定です。

また、本経営統合後において、当社の子会社である株式会社伊予銀行（以下、「伊予銀行」といいます。）および愛媛銀行は、それぞれの特長を活かした事業展開を行うことが本経営統合の理念と目的の実現に資するとの判断から、「シングルプラットフォーム マルチブランド」体制の採用を予定しております。

なお、本経営統合の形態については、今後両社で継続的な協議・検討を進める過程で変更する可能性があります。

３．株式交換比率

本株式交換に係る株式交換比率は、今後実施するデュー・ディリジェンスの結果および両社がそれぞれ起用する第三者算定機関による株式交換比率算定の結果等を踏まえて、本経営統合に関する最終契約（以下、「本件最終契約」といいます。）締結までに決定いたします。

４．統合準備委員会の設置

両社は、本経営統合の円滑な実現に向けて、当社代表取締役社長および愛媛銀行代表取締役頭取を共同委員長とする「統合準備委員会」を設置し、本経営統合に関する協議を集中的に行ってまいります。

５．今後のスケジュール

2026年12月	（予定）	本件最終契約および株式交換契約の締結
2027年２月	（予定）	愛媛銀行臨時株主総会
2027年４月１日	（予定）	株式交換効力発生日

（注1）上記は現時点における予定であり、両社の今後の協議等によって変更になる場合がございます。また、本経営統合の実行にあたっては、必要となる関係当局の許認可等が得られることを前提としていますが、当該許認可等の取得状況によって、本経営統合の日程が遅延する事由が生じた場合には、速やかに公表いたします。

（注2）本経営統合は当社において簡易株式交換に該当し、当社の株主総会による承認を受けないで行われる予定ですが、当社における株主総会による承認の要否については、本件最終契約締結までに確認いたします。

６．両社の概要（2026年３月31日時点）

名称	株式会社いよぎんホールディングス	株式会社愛媛銀行
本店所在地	愛媛県松山市南堀端町１番地	愛媛県松山市勝山町２丁目１番地
代表者の役職・氏名	代表取締役社長　三好 賢治	代表取締役頭取　西川 義教
事業内容	銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理およびこれに付帯関連する一切の業務。銀行法により銀行持株会社が営むことのできる業務	銀行業
資本金	20,000百万円	21,367百万円
設立年月日	2022年10月３日	1943年３月20日
発行済株式総数	普通株式　313,408,831株	普通株式　39,426,777株
決算期	３月31日	３月31日
総資産（連結）	9,539,812百万円	3,082,660百万円
預金等残高（単体）	7,298,342百万円（伊予銀行単体）	2,784,324百万円
貸出金残高（単体）	6,164,420百万円（伊予銀行単体）	2,020,785百万円
従業員数（連結）	3,098人	1,350人
店舗数（出張所を含む）	国内121か店 海外１か店 海外駐在員事務所１か所	国内81か店

（注）株式会社いよぎんホールディングスの店舗数は伊予銀行の店舗数を記載しております。また、いずれも店舗内店舗、ローン特化店、インターネット支店を除いております。

（セグメント情報）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社12社(前中間連結会計期間は18社)で構成され、銀行業務を中心に、リース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、当社グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の２つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

なお、「銀行業」は、連結子会社の銀行業務、銀行事務代行業務、信用保証業務、クレジットカード業務、有価証券投資業務、投資ファンドの運営業務を集約しております。

「リース業」は、連結子会社のいよぎんリース株式会社において、リース業務等を行っております。

２．報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、中間連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	126,521	10,296	136,817	1,186	138,004	―	138,004
セグメント間の内部経常収益	333	182	515	14,175	14,691	△14,691	―
計	126,854	10,479	137,333	15,362	152,696	△14,691	138,004
セグメント利益	54,823	290	55,113	12,180	67,293	△12,050	55,243
セグメント資産	9,319,764	83,464	9,403,228	510,125	9,913,354	△559,376	9,353,978
セグメント負債	8,496,393	62,007	8,558,400	8,349	8,566,750	△62,834	8,503,915
その他の項目							
減価償却費	3,811	23	3,834	24	3,859	△71	3,787
資金運用収益	75,243	118	75,361	12,086	87,447	△12,268	75,179
資金調達費用	23,365	189	23,554	0	23,555	△191	23,363
特別利益	6,000	―	6,000	―	6,000	―	6,000
（固定資産処分益）	(0)	―	(0)	―	(0)	―	(0)
（受取和解金）	(6,000)	―	(6,000)	―	(6,000)	―	(6,000)
特別損失	115	―	115	0	116	―	116
（固定資産処分損）	(65)	―	(65)	(0)	(66)	―	(66)
（減損損失）	(50)	―	(50)	―	(50)	―	(50)
税金費用	17,701	87	17,789	79	17,869	0	17,869
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,417	112	4,530	22	4,552	△42	4,510

（注）１．一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

２．「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業等であります。

３．調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△12,050百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△559,376百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△62,834百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△71百万円、資金運用収益の調整額△12,268百万円、資金調達費用の調整額△191百万円、税金費用の調整額０百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△42百万円は、セグメント間取引消去であります。

４．セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	145,627	11,649	157,277	1,431	158,709	―	158,709
セグメント間の内部経常収益	597	272	870	25,802	26,673	△26,673	―
計	146,225	11,922	158,148	27,234	185,382	△26,673	158,709
セグメント利益	66,223	372	66,595	23,864	90,460	△23,450	67,009
セグメント資産	9,306,963	92,528	9,399,491	517,590	9,917,082	△571,541	9,345,541
セグメント負債	8,450,749	72,296	8,523,045	11,561	8,534,607	△74,565	8,460,041
その他の項目							
減価償却費	3,907	21	3,928	35	3,964	△71	3,892
資金運用収益	86,457	135	86,592	23,497	110,090	△23,918	86,172
資金調達費用	22,783	435	23,218	0	23,218	△440	22,778
特別利益	13	―	13	1	15	―	15
（固定資産処分益）	(13)	―	(13)	―	(13)	―	(13)
（金融商品取引責任準備金取崩額）	―	―	―	(1)	(1)	―	(1)
特別損失	65	―	65	0	65	―	65
（固定資産処分損）	(55)	―	(55)	(0)	(55)	―	(55)
（減損損失）	(10)	―	(10)	―	(10)	―	(10)
税金費用	20,004	107	20,112	165	20,278	0	20,278
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,678	13	3,691	10	3,702	△29	3,672

（注）１．一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

２．「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業等であります。

３．調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△23,450百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△571,541百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△74,565百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△71百万円、資金運用収益の調整額△23,918百万円、資金調達費用の調整額△440百万円、税金費用の調整額０百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△29百万円は、セグメント間取引消去であります。

４．セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2027年３月期第２四半期
（中間）決算説明資料

いよぎんホールディングス

【目　　次】

Ⅰ　2027年３月期第２四半期（中間）決算の概況

１．損益状況	連結	・・・・・・・・・・・・・・・	1
	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	2
２．業務純益	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	3
３．利鞘	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	3
４．有価証券関係損益	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	3
５．有価証券	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	4
６．自己資本比率（国際統一基準）	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	5
７．ＲＯＥ	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	5

Ⅱ　貸出金等の状況

１．金融再生法開示債権及びリスク管理債権	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	6
２．金融再生法開示債権及びリスク管理債権の保全状況	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	7
３．貸倒引当金等の状況	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	7
４．自己査定、金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	8
５．業種別貸出状況等		・・・・・・・・・・・・・・・	9
（１）業種別貸出金	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	9
（２）業種別金融再生法開示債権	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	9
（３）個人ローン残高	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	9
（４）中小企業等貸出比率	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
６．国別貸出状況等		・・・・・・・・・・・・・・・	10
（１）特定海外債権残高	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
（２）アジア向け貸出金	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
（３）中南米諸国向け貸出金	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
（４）ロシア向け貸出金	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
７．預金等、貸出金の残高	単体	・・・・・・・・・・・・・・・	10
８．預り資産の残高	連結	・・・・・・・・・・・・・・・	11

Ⅲ　業績予想	連結・単体	・・・・・・・・・・・・・・・	11
（参考）伊予銀行単体　財務諸表		・・・・・・・・・・・・・・・	12
2026年度中間期決算ダイジェスト		・・・・・・・・・・・・・・・	別添

（注）連結は、いよぎんホールディングスの連結計数を表示しております。
　　単体は、伊予銀行の単体計数を表示しております。

Ⅰ　2027年３月期第２四半期（中間）決算の概況

１．損益状況

【いよぎんホールディングス連結】　　（単位：百万円）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
経常収益	158,709	20,705	138,004
連結粗利益	60,075	1,028	59,047
資金利益	63,396	11,580	51,816
役務取引等利益	6,044	657	5,387
その他業務利益	△ 9,364	△ 11,207	1,843
営業経費　（△）	31,570	236	31,334
貸倒償却引当費用　（△）	2,160	△ 489	2,649
貸出金償却　（△）	9	2	7
個別貸倒引当金純繰入額　（△）	1,584	△ 1,356	2,940
一般貸倒引当金繰入額　（△）	232	825	△ 593
偶発損失引当金繰入額　（△）	△ 29	△ 103	74
その他の債権売却損等　（△）	383	104	279
償却債権取立益	18	△ 40	58
株式等関係損益	39,483	10,343	29,140
その他	1,181	142	1,039
経常利益	67,009	11,766	55,243
特別損益	△ 50	△ 5,933	5,883
税金等調整前中間純利益	66,959	5,832	61,127
法人税、住民税及び事業税　（△）	19,392	1,582	17,810
法人税等調整額　（△）	885	826	59
中間純利益	46,681	3,424	43,257
非支配株主に帰属する中間純利益　（△）	－	△ 13	13
親会社株主に帰属する中間純利益	46,681	3,438	43,243

（注）連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）
＋（その他業務収益－その他業務費用）

（連結対象会社数）　　（単位：社）

連結子会社数	12	△ 6	18
持分法適用会社数	－	－	－

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
業務粗利益	56,877	849	56,028
（除く国債等債券損益（５勘定尻））	72,572	11,833	60,739
国内業務粗利益	37,991	△ 607	38,598
（除く国債等債券損益（５勘定尻））	45,899	9,333	36,566
資金利益	41,974	8,891	33,083
役務取引等利益	3,260	142	3,118
その他業務利益	△ 7,244	△ 9,641	2,397
（うち国債等債券損益）	△ 7,908	△ 9,940	2,032
国際業務粗利益	18,886	1,456	17,430
（除く国債等債券損益（５勘定尻））	26,672	2,499	24,173
資金利益	21,626	2,944	18,682
役務取引等利益	396	221	175
その他業務利益	△ 3,137	△ 1,710	△ 1,427
（うち国債等債券損益）	△ 7,786	△ 1,044	△ 6,742
経費（除く臨時処理分）（△）	32,175	1,610	30,565
人件費（△）	14,254	590	13,664
物件費（△）	15,516	972	14,544
税金（△）	2,403	47	2,356
実質業務純益	24,701	△ 762	25,463
コア業務純益	40,396	10,223	30,173
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	35,087	4,654	30,433
①一般貸倒引当金繰入額（△）	278	939	△ 661
業務純益	24,423	△ 1,702	26,125
うち国債等債券損益（５勘定尻）	△ 15,695	△ 10,985	△ 4,710
臨時損益	40,869	12,998	27,871
②不良債権処理額（△）	1,888	△ 1,242	3,130
貸出金償却（△）	－	△ 0	0
個別貸倒引当金純繰入額（△）	1,601	△ 1,355	2,956
偶発損失引当金繰入額（△）	△ 29	△ 103	74
その他の債権売却損等（△）	316	217	99
③償却債権取立益	18	△ 40	58
（貸倒償却引当費用①＋②－③）（△）	2,148	△ 263	2,411
株式等関係損益	39,483	10,363	29,120
株式等売却益	39,838	8,800	31,038
株式等売却損（△）	333	△ 1,584	1,917
株式等償却（△）	21	21	0
その他の臨時損益	3,255	1,432	1,823
経常利益	65,292	11,296	53,996
特別損益	△ 53	△ 5,937	5,884
固定資産処分損益	△ 43	21	△ 64
固定資産処分益	13	13	0
固定資産処分損（△）	56	△ 8	64
減損損失（△）	10	△ 40	50
受取和解金	－	△ 6,000	6,000
税引前中間純利益	65,238	5,357	59,881
法人税、住民税及び事業税（△）	18,733	1,430	17,303
法人税等調整額（△）	934	796	138
中間純利益	45,569	3,130	42,439

（注）コア業務純益は国債等債券損益（５勘定尻）を除く実質業務純益であります。

２．業務純益

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
（１）コア業務純益	40,396	10,223	30,173
職員一人当たり（千円）	14,711	3,561	11,150
（２）業務純益	24,423	△ 1,702	26,125
職員一人当たり（千円）	8,894	△ 760	9,654

（注）職員数は、嘱託及び出向者を除く従業員数の期中平均人員を使用しております。

３．利鞘

【伊予銀行単体】　（単位：％）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
（１）資金運用利回　(A)	1.97	0.25	1.72
（イ）貸出金利回	1.72	0.18	1.54
（ロ）有価証券利回	4.22	1.02	3.20
（２）資金調達原価　(B)	1.32	0.03	1.29
（イ）預金等利回	0.49	0.15	0.34
（ロ）外部負債利回	0.34	△ 0.26	0.60
（３）総資金利鞘　(A)－(B)	0.65	0.22	0.43

【伊予銀行単体】（国内業務部門）　（単位：％）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
（１）資金運用利回　(A)	1.39	0.35	1.04
（イ）貸出金利回	1.45	0.29	1.16
（ロ）有価証券利回	3.40	0.85	2.55
（２）資金調達原価　(B)	1.19	0.19	1.00
（イ）預金等利回	0.39	0.17	0.22
（ロ）外部負債利回	0.16	0.09	0.07
（３）総資金利鞘　(A)－(B)	0.20	0.16	0.04

４．有価証券関係損益

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
国債等債券損益（5勘定尻）	△ 15,695	△ 10,985	△ 4,710
売却益	4,924	△ 1,047	5,971
償還益	2	△ 38	40
売却損	20,572	9,850	10,722
償還損	－	－	－
償却	49	49	－
株式等損益（3勘定尻）	39,483	10,363	29,120
売却益	39,838	8,800	31,038
売却損	333	△ 1,584	1,917
償却	21	21	0

５．有価証券

（１）有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的の債券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

（参考）金銭の信託中の有価証券

運用目的の金銭の信託	時価法（評価差額を損益処理）
その他の金銭の信託 （運用目的及び満期保有目的以外）	時価法（評価差額を全部純資産直入）

（２）評価損益

【いよぎんホールディングス連結】　　（単位：百万円）

	2026年9月末					2026年3月末			
	時価	評価損益	2026年3月末比	評価益	評価損	時価	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	1,415,166	275,269	△ 17,746	311,972	36,702	1,678,842	293,015	322,413	29,397
株式	340,340	277,230	△ 10,471	277,335	104	355,635	287,701	287,816	115
債券	491,603	△ 11,051	3,167	436	11,487	394,583	△ 14,218	418	14,636
その他	583,223	9,089	△ 10,443	34,200	25,110	928,623	19,532	34,177	14,645
合計	1,415,166	275,269	△ 17,746	311,972	36,702	1,678,842	293,015	322,413	29,397
株式	340,340	277,230	△ 10,471	277,335	104	355,635	287,701	287,816	115
債券	491,603	△ 11,051	3,167	436	11,487	394,583	△ 14,218	418	14,636
その他	583,223	9,089	△ 10,443	34,200	25,110	928,623	19,532	34,177	14,645

（注）「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価損益は、連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

【伊予銀行単体】　　（単位：百万円）

	2026年9月末					2026年3月末			
	時価	評価損益	2026年3月末比	評価益	評価損	時価	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	1,402,344	263,130	△ 17,366	299,822	36,691	1,665,639	280,496	309,886	29,390
株式	327,518	265,092	△ 10,089	265,185	93	342,432	275,181	275,290	108
債券	491,603	△ 11,051	3,167	436	11,487	394,583	△ 14,218	418	14,636
その他	583,223	9,089	△ 10,443	34,200	25,110	928,623	19,532	34,177	14,645
合計	1,402,344	263,130	△ 17,366	299,822	36,691	1,665,639	280,496	309,886	29,390
株式	327,518	265,092	△ 10,089	265,185	93	342,432	275,181	275,290	108
債券	491,603	△ 11,051	3,167	436	11,487	394,583	△ 14,218	418	14,636
その他	583,223	9,089	△ 10,443	34,200	25,110	928,623	19,532	34,177	14,645

（注）「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価損益は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

６．自己資本比率（国際統一基準）

信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用するとともに、マーケット・リスク相当額の算出においては標準的方式を採用しております。

【いよぎんホールディングス連結】　（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末
(1) 連結総自己資本比率（(4)/(7)）	17.85%	2.32%	15.53%
(2) 連結Ｔｉｅｒ１比率（(5)/(7)）	17.85%	2.33%	15.52%
(3) 連結普通株式等Ｔｉｅｒ１比率（(6)/(7)）	17.85%	2.33%	15.52%
(4) 連結における総自己資本の額	8,036	57	7,979
(5) 連結におけるＴｉｅｒ１資本の額	8,034	57	7,977
(6) 連結における普通株式等Ｔｉｅｒ１資本の額	8,034	58	7,976
(7) リスク・アセットの額	45,001	△ 6,375	51,376
(8) 連結総所要自己資本額（(7)×8%）	3,600	△ 510	4,110

ご参考：バーゼルⅢ最終化完全適用後の試算　（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末
(1) 連結総自己資本比率（(2)/(3)）	16.29%	1.31%	14.98%
(2) 連結における総自己資本の額	8,036	57	7,979
(3) リスク・アセットの試算額	49,321	△ 3,937	53,258

（注）2026年9月末の実績に基づき、株式にかかるリスクウェイトの引上げ及び資本フロアを勘案して試算を行っております。

【伊予銀行単体】　（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末
(1) 単体総自己資本比率（(4)/(7)）	17.25%	2.18%	15.07%
(2) 単体Ｔｉｅｒ１比率（(5)/(7)）	17.25%	2.18%	15.07%
(3) 単体普通株式等Ｔｉｅｒ１比率（(6)/(7)）	17.25%	2.18%	15.07%
(4) 単体における総自己資本の額	7,552	△ 16	7,568
(5) 単体におけるＴｉｅｒ１資本の額	7,552	△ 16	7,568
(6) 単体における普通株式等Ｔｉｅｒ１資本の額	7,552	△ 16	7,568
(7) リスク・アセットの額	43,780	△ 6,419	50,199
(8) 単体総所要自己資本額（(7)×8%）	3,502	△ 513	4,015

７．ＲＯＥ

【いよぎんホールディングス連結】　（単位：%）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
親会社株主に帰属する中間純利益ベース	10.56	0.13	10.43

【伊予銀行単体】　（単位：%）

	2026年中間期	2025年中間期比	2025年中間期
中間純利益ベース	11.05	0.16	10.89

Ⅱ　貸出金等の状況

１．金融再生法開示債権及びリスク管理債権

【いよぎんホールディングス連結】

（単位：百万円）

		2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		12,402	1,962	10,440	9,767
危険債権		74,669	△ 3,570	78,239	78,748
要管理債権		14,817	1,418	13,399	13,393
	三月以上延滞債権	2,236	△ 362	2,598	2,619
	貸出条件緩和債権	12,580	1,779	10,801	10,773
小　　計(A)		101,889	△ 190	102,079	101,909
正常債権		6,317,677	△ 11,803	6,329,480	6,175,219
合　　計		6,419,567	△ 11,992	6,431,559	6,277,129

（単位：%）

構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.19	0.03	0.16	0.15
	危険債権	1.16	△ 0.05	1.21	1.25
	要管理債権	0.23	0.03	0.20	0.21
	三月以上延滞債権	0.03	△ 0.01	0.04	0.04
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.16	0.17
	小　　計	1.58	－	1.58	1.62
	正常債権	98.41	－	98.41	98.37

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

		2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		12,284	1,918	10,366	9,555
危険債権		73,364	△ 3,688	77,052	77,541
要管理債権		14,817	1,418	13,399	13,393
	三月以上延滞債権	2,236	△ 362	2,598	2,619
	貸出条件緩和債権	12,580	1,779	10,801	10,773
小　　計(A)		100,466	△ 352	100,818	100,489
正常債権		6,380,007	△ 7,930	6,387,937	6,226,134
合　　計		6,480,474	△ 8,281	6,488,755	6,326,624

（単位：%）

構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.18	0.03	0.15	0.15
	危険債権	1.13	△ 0.05	1.18	1.22
	要管理債権	0.22	0.02	0.20	0.21
	三月以上延滞債権	0.03	△ 0.01	0.04	0.04
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.16	0.17
	小　　計	1.55	－	1.55	1.58
	正常債権	98.44	－	98.44	98.41

２．金融再生法開示債権及びリスク管理債権の保全状況

【いよぎんホールディングス連結】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
保全額(B)	77,795	152	77,643	74,995
貸倒引当金	35,231	1,322	33,909	31,126
担保保証等	42,564	△ 1,170	43,734	43,869

（単位：％）

保全率(B)／(A)	76.35	0.29	76.06	73.59

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
保全額(B)	76,606	△ 25	76,631	73,802
貸倒引当金	34,304	1,198	33,106	30,113
担保保証等	42,302	△ 1,223	43,525	43,688

（単位：％）

保全率(B)／(A)	76.25	0.25	76.00	73.44

３．貸倒引当金等の状況

【いよぎんホールディングス連結】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
貸倒引当金	42,841	935	41,906	39,019
一般貸倒引当金	8,246	233	8,013	7,964
個別貸倒引当金	34,595	703	33,892	31,055
特定海外債権引当勘定	－	－	－	－

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
貸倒引当金	39,170	998	38,172	35,150
一般貸倒引当金	6,658	278	6,380	6,337
個別貸倒引当金	32,512	720	31,792	28,813
特定海外債権引当勘定	－	－	－	－

４．自己査定、金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況　【伊予銀行単体】

※償却引当後　　（単位：億円）

自己査定結果（対象：総与信等）					
区分 与信残高		分類			
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 66		63	2	－	－
実質破綻先 56		42	13	－	－
破綻懸念先 731		382	176	171	－
要注意先	要管理先 184	25	159	－	－
	その他要注意先 3,375	485	2,890	－	－
正常先 59,849		59,849	－	－	－
合計 64,262		60,848	3,242	171	－

金融再生法開示債権及びリスク管理債権（対象：総与信等）				
区分 与信残高		担保・保証による保全額	引当額	保全率（%）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 122		22	100	100.0
危険債権 733		336	224	76.4
要管理債権 （該当貸出金のみ） 148	三月以上延滞債権 22	64	(注)1 18	55.5
	貸出条件緩和債権 125			
正常債権 63,800	小計 1,004	423	343	76.2
合計 (注)2 64,804				

（注）1．要管理債権の引当は、要管理先に対する一般貸倒引当金
2．自行保証付私募債、デリバティブについては、時価で計上しております。

（注）要注意先債権のうち「担保・保証等のカバーがない部分」に対する一般貸倒引当金のカバー率

要注意先		2.8%
	うち要管理先	18.4%
	うちその他要注意先	2.0%

５．業種別貸出状況等

（１）業種別貸出金

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
国内店分 （除く特別国際金融取引勘定）	5,918,498	4,979	5,913,519	5,783,971
製造業	760,757	9,923	750,834	738,302
農業・林業	6,303	1,273	5,030	4,648
漁業	10,044	1,610	8,434	8,886
鉱業・採石業・砂利採取業	7,714	3,959	3,755	3,508
建設業	187,858	15,572	172,286	164,664
電気・ガス・熱供給・水道業	248,331	△ 6,585	254,916	260,937
情報通信業	20,471	7,325	13,146	12,967
運輸業・郵便業	1,413,071	△ 77,427	1,490,498	1,443,117
卸売業・小売業	596,099	32,391	563,708	561,900
金融業・保険業	278,063	7,260	270,803	264,467
不動産業・物品賃貸業	618,564	9,256	609,308	596,055
各種サービス業	453,652	△ 20,120	473,772	471,205
地方公共団体	196,591	△ 687	197,278	192,936
その他	1,120,973	21,227	1,099,746	1,060,372

（２）業種別金融再生法開示債権

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
国内店分 （除く特別国際金融取引勘定）	100,466	△ 352	100,818	100,489
製造業	32,568	△ 717	33,285	34,425
農業・林業	387	△ 21	408	378
漁業	1,499	△ 4	1,503	925
鉱業・採石業・砂利採取業	114	92	22	30
建設業	5,807	221	5,586	5,658
電気・ガス・熱供給・水道業	199	△ 2	201	182
情報通信業	357	△ 1	358	363
運輸業・郵便業	4,389	△ 433	4,822	4,672
卸売業・小売業	14,464	675	13,789	13,615
金融業・保険業	－	△ 4	4	6
不動産業・物品賃貸業	3,935	△ 306	4,241	4,960
各種サービス業	33,107	607	32,500	31,528
地方公共団体	－	－	－	－
その他	3,635	△ 458	4,093	3,741

（３）個人ローン残高

【伊予銀行単体】

（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
個人ローン残高	1,234,806	10,560	1,224,246	1,206,763
住宅ローン残高	938,007	12,740	925,267	910,903
その他ローン残高	296,799	△ 2,179	298,978	295,859

（４）中小企業等貸出比率

【伊予銀行単体】　（単位：%）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
中小企業等貸出比率	77.33	△ 1.01	78.34	78.56

６．国別貸出状況等

（１）特定海外債権残高

【伊予銀行単体】　該当事項はありません。

（２）アジア向け貸出金

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
シンガポール	100,279	△ 23,192	123,471	106,519
香港	29,289	20,807	8,482	9,297
インド	5,000	－	5,000	－
フィリピン	2,360	△ 38	2,398	2,233
インドネシア	786	△ 13	799	606
タイ	760	△ 100	860	1,000
アラブ首長国連邦	702	△ 76	778	774
合計	139,178	△ 2,611	141,789	120,430

（注）1.日本貿易保険による保証付等のカントリーリスクが排除されているものを除く。
2.金融再生法開示債権に該当する貸出金はありません。

（３）中南米諸国向け貸出金

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
パナマ	19,770	3,657	16,113	16,496
ケイマン諸島	2,000	－	2,000	2,000
バージン諸島	1,404	△ 1,105	2,509	3,467
チリ	1,220	△ 24	1,244	1,430
合計	24,395	2,528	21,867	23,395

（注）1.日本貿易保険による保証付等のカントリーリスクが排除されているものを除く。
2.金融再生法開示債権に該当する貸出金はありません。

（４）ロシア向け貸出金

【伊予銀行単体】　該当事項はありません。

７．預金等、貸出金の残高

【伊予銀行単体】　（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
預金等（末残）	7,195,375	△ 102,967	7,298,342	7,066,941
うち個人預金	3,957,330	△ 19,068	3,976,398	3,958,804
預金等（平残）	7,300,602	38,654	7,261,948	7,220,534
貸出金（末残）	6,151,149	△ 13,271	6,164,420	6,016,986
貸出金（平残）	6,181,835	126,927	6,054,908	5,937,216

（注）預金等は、預金及び譲渡性預金の合計であります。

８．預り資産の残高

【いよぎんホールディングス連結】　（単位：百万円）

	2026年9月末	2026年3月末比	2026年3月末	2025年9月末
伊予銀行預り資産残高	582,894	62,088	520,806	482,200
投資信託	121,517	17,644	103,873	93,152
保険	233,354	7,835	225,519	222,217
国債	102,893	19,688	83,205	70,358
金融商品仲介	125,128	16,920	108,208	96,471
四国アライアンス証券預り資産残高	548,583	61,068	487,515	425,907
合計	1,131,477	123,155	1,008,322	908,107

Ⅲ　業績予想

2026年度通期

【いよぎんホールディングス連結】　（単位：百万円、％）

	2026年度	2025年度比	増減率	2025年度
経常収益	298,000	31,882	12.0	266,118
経常利益	115,500	16,294	16.4	99,206
親会社株主に帰属する当期純利益	80,000	5,747	7.7	74,253

【伊予銀行単体】　（単位：百万円、％）

	2026年度	2025年度比	増減率	2025年度
経常収益	270,000	28,736	11.9	241,264
経常利益	113,000	16,350	16.9	96,650
当期純利益	78,500	5,995	8.3	72,505
業務純益	51,000	△ 21,944	△ 30.1	72,944
コア業務純益	76,000	11,840	18.5	64,160

（注）コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

（参考）伊予銀行単体　財務諸表

（１）中間貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
現金預け金	1,163,698	1,308,523
コールローン	5,116	6,923
債券貸借取引支払保証金	120,647	99,922
買入金銭債権	3,386	3,175
商品有価証券	318	327
金銭の信託	2,340	2,413
有価証券	1,692,314	1,431,367
貸出金	6,164,420	6,151,149
外国為替	6,594	4,986
その他資産	185,499	137,692
その他の資産	185,499	137,692
有形固定資産	84,775	84,434
無形固定資産	12,568	12,380
前払年金費用	35,114	36,485
支払承諾見返	32,357	34,815
貸倒引当金	△ 38,172	△ 39,170
資産の部合計	9,470,981	9,275,427
負債の部		
預金	6,759,910	6,738,109
譲渡性預金	538,431	457,266
コールマネー	4,796	16,207
売現先勘定	122,894	74,149
債券貸借取引受入担保金	176,178	122,834
借用金	692,732	714,542
外国為替	2,002	656
信託勘定借	1,764	1,861
その他負債	213,163	185,024
未払法人税等	18,779	18,553
リース負債	2,271	1,946
資産除去債務	44	45
その他の負債	192,068	164,479
賞与引当金	2,124	1,848
退職給付引当金	10,348	10,130
睡眠預金払戻損失引当金	245	110
偶発損失引当金	1,297	1,267
株式報酬引当金	637	611
固定資産解体費用引当金	590	243
繰延税金負債	85,082	79,326
再評価に係る繰延税金負債	9,521	9,498
支払承諾	32,357	34,815
負債の部合計	8,654,078	8,448,506

（単位：百万円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
資本金	20,948	20,948
資本剰余金	10,480	10,480
資本準備金	10,480	10,480
利益剰余金	556,742	581,676
利益準備金	20,948	20,948
その他利益剰余金	535,794	560,728
圧縮記帳積立金	1,954	1,951
別途積立金	393,594	393,594
繰越利益剰余金	140,245	165,183
株主資本合計	588,171	613,105
その他有価証券評価差額金	193,915	181,905
繰延ヘッジ損益	16,576	13,721
土地再評価差額金	18,237	18,188
評価・換算差額等合計	228,730	213,815
純資産の部合計	816,902	826,921
負債及び純資産の部合計	9,470,981	9,275,427

（２）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
経常収益	126,073	145,392
資金運用収益	75,136	86,392
（うち貸出金利息）	46,084	53,414
（うち有価証券利息配当金）	26,133	27,004
信託報酬	0	0
役務取引等収益	6,979	7,490
その他業務収益	11,703	10,248
その他経常収益	32,254	41,261
経常費用	72,076	80,100
資金調達費用	23,372	22,793
（うち預金利息）	10,515	15,632
役務取引等費用	3,686	3,832
その他業務費用	10,732	20,630
営業経費	29,881	30,205
その他経常費用	4,403	2,637
経常利益	53,996	65,292
特別利益	6,000	13
特別損失	115	67
税引前中間純利益	59,881	65,238
法人税、住民税及び事業税	17,303	18,733
法人税等調整額	138	934
法人税等合計	17,442	19,668
中間純利益	42,439	45,569

2026年度中間期 決算ダイジェスト

（2026.4.1 – 2026.9.30）

いよぎんホールディングス

2026.11.6

連結損益状況

堅調な資金利益の増加に伴う高水準の連結コア業務粗利益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は過去最高益を計上しました。

持株連結（単位：百万円）	2026年度 中間期	前年同期比	増減率	2025年度 中間期
A. 連結コア業務粗利益	**75,770**	＋12,013	＋18.8%	63,757
資金利益	**63,396**	＋11,580		51,816
役務取引等利益	**6,044**	＋657		5,387
その他業務利益（除く国債等債券関係損益）	**6,330**	△223		6,553
B. 経費（△）	**33,524**	＋1,565	＋4.9%	31,959
人件費	**17,459**	＋884		16,575
物件費	**13,617**	＋644		12,973
税金	**2,448**	＋38		2,410
連結コア業務純益	**42,246**	＋10,448	＋32.9%	31,798
C. 信用コスト（△）①+②−③	**2,160**	△489		2,649
一般貸倒引当金繰入額①	**232**	＋825		△593
不良債権処理額②	**1,946**	△1,355		3,301
償却債権取立益③	**18**	△40		58
D. 有価証券関係損益	**23,788**	△642		24,430
国債等債券関係損益	**△15,695**	△10,985		△4,710
株式等関係損益	**39,483**	＋10,343		29,140
その他の臨時損益	**3,135**	＋1,471		1,664
経常利益	**67,009**	＋11,766	＋21.3%	55,243
特別損益	**△50**	△5,933		5,883
うち受取和解金	**-**	△6,000		6,000
税引前中間純利益	**66,959**	＋5,832		61,127
中間純利益	**46,681**	＋3,424	＋7.9%	43,257
E. 親会社株主に帰属する中間純利益	**46,681**	＋3,438	＋8.0%	43,243
経常収益	**158,709**	＋20,705	＋15.0%	138,004
連結業務純益	**26,318**	△1,363	△4.9%	27,681

A. 連結コア業務粗利益　前年同期比 ＋12,013百万円

- ✓ 貸出金残高の増強、邦貨預貸金利回り差の拡大による貸出金運用益の増加等により、資金利益が増加
- ✓ 預り資産の増強、融資関連手数料の増加等により、役務取引等利益が増加

B. 経費（△）　前年同期比 ＋ 1,565百万円

- ✓ ベアの実施等により、人件費が増加
- ✓ システム関連の戦略投資の増加等により、物件費が増加

C. 信用コスト（△）　前年同期比 △ 489百万円

- ✓ 引当率の変動等により、一般貸倒引当金繰入額が増加
- ✓ ランクダウンの減少等により、不良債権処理額が減少

D. 有価証券関係損益　前年同期比 △ 642百万円

- ✓ 入替売買に伴う損失計上により、国債等債券関係損益が減少
- ✓ 政策保有株式の売却益増加により、株式等関係損益が増加

E. 親会社株主に帰属する中間純利益　前年同期比 ＋3,438百万円

Copyright © 2026 Iyogin Holdings,Inc. All Rights Reserved.

伊予銀行単体損益状況、預貸金・預り資産の状況

損益状況【伊予銀行単体】

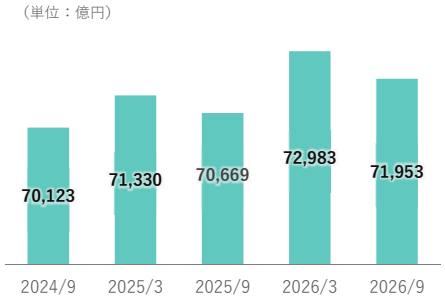
- 堅調な資金利益の増加に伴う高水準のコア業務粗利益の計上により、 中間純利益は過去最高益を計上しております。

伊予銀行単体（単位：百万円）	2026年度中間期	前年同期比	増減率	2025年度中間期
コア業務粗利益	72,572	＋11,833	＋19.5%	60,739
資金利益	63,601	＋11,836		51,765
役務取引等利益	3,657	＋364		3,293
その他業務利益（除く国債等債券関係損益）	5,313	△367		5,680
経費（△）	32,175	＋1,610	＋5.3%	30,565
人件費	14,254	＋590		13,664
物件費	15,516	＋972		14,544
税金	2,403	＋47		2,356
コア業務純益	40,396	＋10,223	＋33.9%	30,173
信用コスト（△）①＋②－③	2,148	△263		2,411
一般貸倒引当金繰入額①	278	＋939		△661
不良債権処理額②	1,888	△1,242		3,130
償却債権取立益③	18	△40		58
有価証券関係損益	23,788	△622		24,410
国債等債券関係損益	△15,695	△10,985		△4,710
株式等関係損益	39,483	＋10,363		29,120
その他の臨時損益	3,255	＋1,432		1,823
経常利益	65,292	＋11,296	＋20.9%	53,996
特別損益	△53	△5,937		5,884
税引前中間純利益	65,238	＋5,357		59,881
中間純利益	45,569	＋3,130	＋7.4%	42,439
経常収益	145,392	＋19,319	＋15.3%	126,073
業務純益	24,423	△1,702	△6.5%	26,125

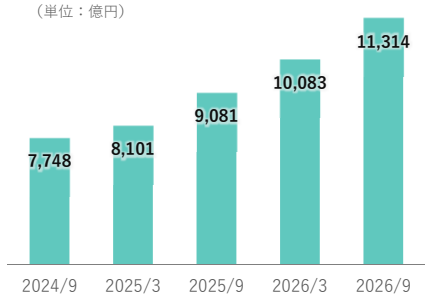
預貸金・預り資産の状況

- 預金等残高は前年同期比1,284億円増加して7兆1,953億円、貸出金残高は前年同期比1,342億円増加して6兆1,511億円となりました。

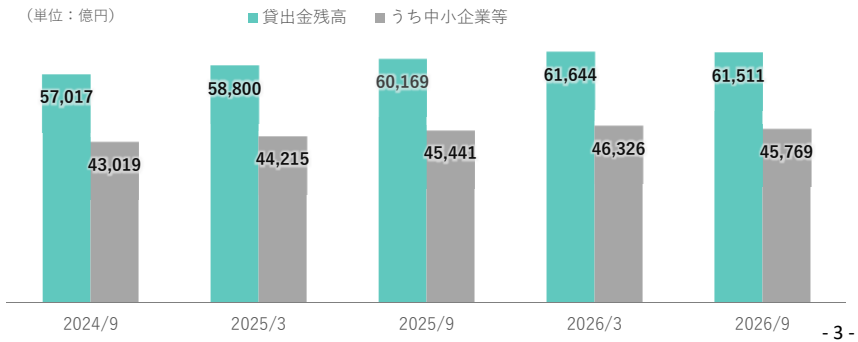
◆ 預金等残高【伊予銀行単体】



◆ 預り資産残高【連結】



◆ 貸出金残高【伊予銀行単体】

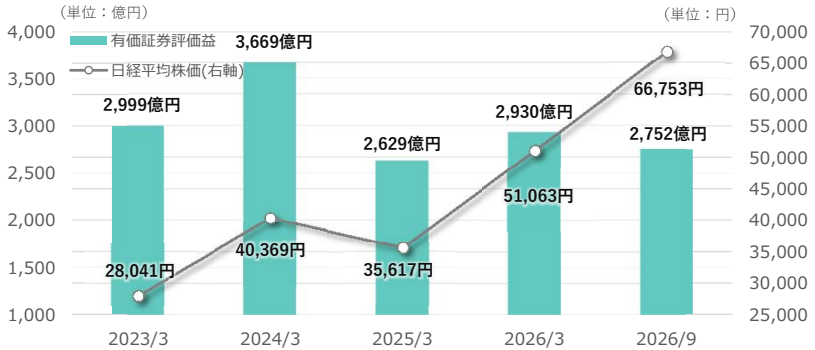


Copyright © 2026 Iyogin Holdings,Inc. All Rights Reserved.

有価証券評価益及び自己資本比率、開示不良債権の状況

有価証券評価益【連結】

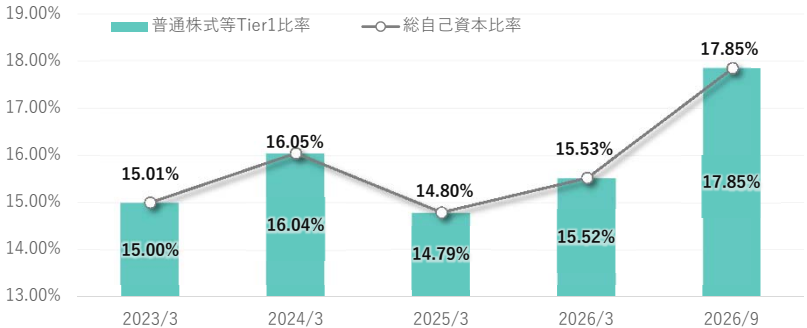
- 有価証券評価益は2,752億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。



（注）金銭の信託に係る評価損益を除く。

自己資本比率の推移（バーゼルIII基準）【連結】

- バーゼルIII基準(国際統一基準)による連結総自己資本比率は17.85%であり、所要自己資本比率を余裕をもってクリアしております。

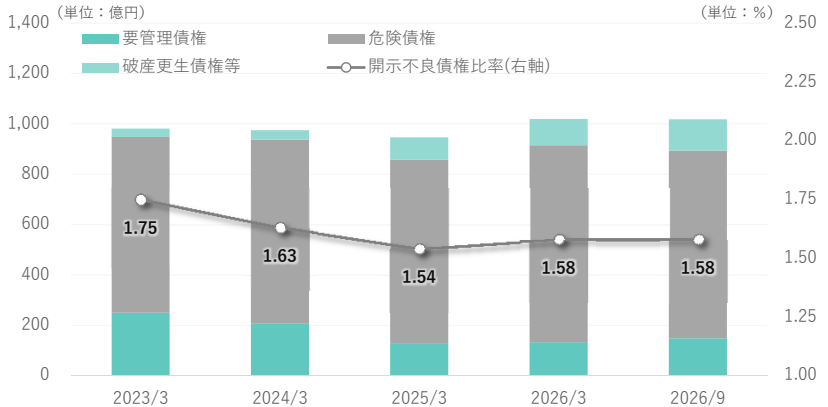


金融再生法開示基準による不良債権額・比率推移【連結】

- 金融再生法開示基準による不良債権比率は1.58%となり、低水準の倒産・ランクダウンを背景に、引き続き低水準を維持しております。

（単位：億円）

	2026/3	2026/9	前年度比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	104	**124**	＋20
危険債権	782	**746**	△ 36
要管理債権	133	**148**	＋15
三月以上延滞債権	25	**22**	△ 3
貸出条件緩和債権	108	**125**	＋17
開示不良債権合計	**1,020**	**1,018**	△ 2
正常債権	63,294	**63,176**	△ 118
合　計	64,315	**64,195**	△ 120
開示不良債権比率	**1.58%**	**1.58%**	－



Copyright © 2026 Iyogin Holdings,Inc. All Rights Reserved.

業績及び配当予想

- 資金利益の増加などによる連結コア業務純益の増加を主因として、親会社株主に帰属する当期純利益は800億円を見込んでおります。
- 2026年度における1株当たりの配当金は、1株当たり20円増配し、年間80円（中間配当40円、期末配当40円）を予定しております。

持株連結（単位：億円）	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度 中間期実績	2025年度実績	2026年度 中間期実績	2026年度 前年同期比	2026年度予想	2026年度 前年度比
連結コア業務粗利益	904	895	987	1,093	637	1,315	757	＋120	1,470	＋155
うち資金利益	726	753	829	895	518	1,044	633	＋115	1,245	＋201
うち非資金利益	177	142	157	198	119	271	123	＋4	225	△46
経費（△）	516	526	551	683	319	639	335	＋16	680	＋41
連結コア業務純益	388	368	435	410	317	676	422	＋105	790	＋114
信用コスト（△）	43	△25	27	18	26	78	21	△5	40	△38
有価証券関係損益	11	△0	149	328	244	365	237	△7	350	△15
経常利益	382	424	585	750	552	992	670	＋118	1,155	＋163
親会社株主に帰属する当期純利益	264	278	394	533	432	742	466	＋34	800	＋58
1株当たり配当金	16円	17円	30円	45円	30円	60円	40円	＋10円	80円	＋20円

【参考】自己株式取得実績・見込　2021年度：総額30億円、2022年度：総額40億円、2023年度：総額93億円、2024年度：総額110億円、 2025年度：総額170億円、2026年度：総額150億円

参考：伊予銀行単体（単位：億円）	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度 中間期実績	2025年度実績	2026年度 中間期実績	2026年度 前年同期比	2026年度予想	2026年度 前年度比
コア業務粗利益	845	841	928	1,034	607	1,253	725	＋118	1,410	＋157
経費（△）	490	503	527	658	305	611	321	＋16	650	＋39
コア業務純益	354	337	401	376	301	641	403	＋102	760	＋119
経常利益	352	392	561	724	539	966	652	＋113	1,130	＋164
当期純利益	246	263	378	516	424	725	455	＋31	785	＋60

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。
実際の業績は、今後の経営環境の変化等の様々な要因によって変動する可能性があります。

Copyright © 2026 Iyogin Holdings,Inc. All Rights Reserved.